

大阪・関西万博の万博遠足について見直しを求めます

2025 年 4 月 16 日
新日本婦人の会大阪府本部
会長 杉本 和
大阪府中央区谷町 7 丁目 1 - 39 - 202
電話 06 - 6761 - 0182

日頃から子どもたちの教育活動のために、ご尽力いただき感謝申し上げます。
私たち新日本婦人の会は、女性の願いや子どものしあわせのために 60 年以上全国で運動している国連 NGO の女性団体です。

大阪・関西万博が 4 月 13 日に開幕しました。直前の 4 月 4 日からおこなわれたテストラン（リハーサル）において、パビリオン内で火災が起き、消防車両 16 台駆けつける事態となりました。出火原因不明の中、6 日には、グリーンワールドといわれるエリアの西ゲート近くで着火すれば爆発の危険がある下限濃度（5 vol%）を超えるメタンガスが検知され、消防隊が出動しました。

万博会場となっている夢洲は大阪市のゴミ最終処分場として造成され、ダイオキシン、PCB を含む有害物質や下水汚泥で埋め立てられた人工島です。夢洲 1 区は、現役の廃棄物処分場であり、1 日約 3 トンのメタンガスが発生しており、爆発事故の可能性を排除できない立地です。昨年 3 月には、メタンガスに溶接の火花が引火して爆発する事故が発生し、私たちは危険な夢洲を会場とする万博に学校行事として子どもたちを連れて行かないでと、何度も要請してきました。

しかし、今になっても万博会場は、大規模な地震や津波への防災対策が不十分で、熱中症のリスクも避けられないと言われており、大阪府内をはじめ万博の遠足参加を見送る自治体が増えています。1 日当たり 15 万人の来場が想定される中で、適切な対応ができるのかも不安はぬぐえません。

安全が確保されない場所に学校行事で子どもたちを行かせることのないよう、ぜひ見直しをおこなってください。

記

1. 大阪・関西万博を校外学習の行き先としている学校や、学校行事で子どもたちを行かせることを決めている学校に、児童、生徒の安全確保最優先の観点から見直しを求めてください
2. 安全性等への不安から万博遠足を欠席したり、万博会場へ行かなかったりする生徒が出た場合、その生徒の学校生活、進学時の調査書等で不利益が生じないようにしてください